

## 令和8年度第1回佐伯市高齢者にやさしい地域づくり協議会 議事要旨

1 日時 令和8年5月28日(木) 18時30分～19時56分

2 場所 佐伯市役所本庁舎 6階 第2委員会室

3 出席者等

### 【会議の構成員】

会長 島村 康一郎 (佐伯市医師会 会長)

副会長 下川 要二 (佐伯市薬剤師会 会長)

委員 池田 典子 (大分県栄養士会南部支部 会長)

五十川 智仁 (佐伯市医療ソーシャルワーカー協会 代表)

井上 雅公 (佐伯市認知症施策推進部会 部会長)

末永 健二 (佐伯市総合政策部長)

※代理出席 久保田 邦彦 (政策企画課長)

戸高 真一 (佐伯市福祉保健部長)

清田 恵子 (大分県歯科衛生士会 県南支部代表)

戸高 親平 (佐伯市介護支援専門員協会 代表)

司農 ゆかり (大分県看護協会 佐伯地区理事)

染矢 芳樹 (佐伯市社会福祉協議会 事務局長)

※代理出席 西村 倫史 (佐伯市社会福祉協議会 在宅福祉課長)

土谷 健治 (南部圏域佐伯地域リハビリテーション広域支援センター事務局長)

林下 陽二 (大分県南部保健所 所長)

利光 史規 (佐伯市歯科医師会 副会長)

西嶋 信子 (佐伯市民生委員児童委員協議会 会長)

吉岡 健児 (佐伯市地域振興部長)

※代理出席 徳丸 伸一 (地域振興課長)

山内 勇人 (佐伯市在宅医療・介護連携推進部会 部会長)

### 【欠席】

委員 宮崎 正豊 (佐伯市生活支援体制整備推進部会 部会長)

### 【事務局 (高齢者福祉課)】

課長 芦苺 信也

総括主幹 團塚 真由美 副主幹 神崎 文美

副主幹 山本 愛子 副主幹 片野 志保

主任 釘宮 沙也香 主任 菅 優美

4 議事要旨

<b>1 開会</b>	
	=18時30分 開会=
<b>2 高齢者福祉課長 あいさつ</b>	
芦荊課長	<p>常日頃から佐伯市の高齢者福祉事業に御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、佐伯市の高齢化率は、直近令和8年4月末時点で42.7%に達しております。また、65歳以上の人口は減少傾向と、何て言いますけれども、総人口の減少に伴い、高齢化率は今後も上昇する見込みとなっております。65歳以上人口の3.6人の、に1人が認知症またはその予備軍と言える状況にあり、高齢化率と同様に上昇が見込まれております。</p> <p>本年度第1回目の本協議会では、地域包括ケアシステムの体制の核となる四つの事業の年間計画を報告させていただき、議事1の佐伯市高齢者福祉計画、第10期介護保険事業計画に向けた取組、そして、議事の佐伯市認知症施策推進基本計画についてお諮りいたします。</p> <p>委員の皆さんにおかれましては、各事業の活動内容や議事に対して忌憚のない御意見を頂き、急速な高齢化に対し、迅速に対応できる事業の構築に向け、今後ともお力添えを頂きますようお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>(委員の変更について)</p> <p>佐伯市総合政策部長と佐伯市福祉保健部長の人事異動による委員の変更があり、任命を行いました。</p>
<b>3 報告</b>	
事務局	<p style="text-align: center;">=令和8年度地域支援事業の取組について説明=</p> <p>(1) 地域ケア会議推進事業 (報告者: 神崎)</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携推進事業 (報告者: 釘宮)</p> <p>(3) 認知症総合支援事業 (報告者: 菅)</p> <p>(4) 生活支援体制整備事業 (報告者: 團塚)</p>
林下委員	<p>在宅医療介護連携推進事業について四つの場面の見取りのところで、令和7年度にアンケート調査から見えてきた課題と、何か今後の方向性が、何か分かれば教えていただきたいと思います。</p>

事務局	<p>結果から見えてきた課題としましては、まず、ACP 人生会議の認知度が低いという点、ACP の必要性が地域や住民に浸透していない、普及啓発面に関する課題があります。</p> <p>また、介護職員等専門職においても、ACP や看取りについての知識、スキルを学ぶ機会が少ないなど、知識不足のところが上がってまいりました。急変時の対応の際、医師や消防との円滑な連携が難しい点、本人が望む場所でのみとりを支援する連携体制、また環境が不十分でないといった点が見えてきました。</p>
林下委員	<p>2040 年に向けて、やっぱりスピード感を持って取り組んでほしいと感じております。</p>
井上委員	<p>地域ケア会議から地域の共通課題として、何か一つの取組を教えてください。</p>
事務局	<p>地域課題においては、毎年第 2 回目会議において、紹介しております。例えば生活支援体制整備事業と一般介護予防事業を活用して、社会福祉協議会で男の料理教室を数か所立ち上げています。男性の社会参加の 1 つ支援として小さな成果にはなりますが、課題解決等は行っています。</p>
戸高委員	<p>ケアマネジャーとしてケア会議に参加をして、ある程度地域課題があげられる。結局、その課題解決の先にそこで暮らす人々の生活がどう変わったか、評価みたいなものも加えていけると、参加してる我々から見ても、この会議に意味合いがこんな感じで発展したと感じます。</p>
林下委員	<p>現状、地域ケア会議とかで ACP に関する話題がありますか。</p>
事務局	<p>地域ケア会議の中で、事例を提出していただく介護支援専門員やアドバイザーと話すことがあります。</p>
五十川委員	<p>有償ボランティア団体の表で全域と記載がありますが、これには大島も含まれてるのでしょうか。</p> <p>包括支援センターに問合せしても、行くところはないというような回答ですが、その辺の実情と何か検討してるようなことがあれば、教えてください。</p>

事務局	御用聞きという買物支援の仕組みはあります。この表にあるいわゆる生活支援は、なかなか難しいような状況です。
島村会長	有償ボランティア団体の一覧表で、実施している内容は、地区の自主性に任せているのか、市から何かアドバイスや指導なりを加えていますか。
事務局	団体の主体性を大切にしているので、特に市からこの項目を増やしてくださいという願いはしていません。
<b>4 議事</b>	
事務局	＝議事の内容について説明＝ 佐伯市高齢者福祉計画 第10期介護保険事業計画について (説明者：山本)
島村会長	事務局から方向性の話がありました。なにか意見はありますか？
山内委員	ワーキングケアラーの方向性としては、どこが相談を受けますか。どこが情報提供を行うのか。そして企業への働きかけを行うところはどうか考えていますか。
事務局	介護というと、離職や、仕事を継続することが難しいという声があるのは認識しています。それについての相談を誰にしたらいいかわからないっていうところも踏まえて、地域包括支援センター等で力になれる部分と考えます。
戸高委員	介護と仕事を両立する人々へに対して、介護支援専門員が「産業ケアマネジャー」という資格を活用したサポートができるようになりました。当社にはこの資格を持つケアマネジャー複数在籍しているので、地域包括支援センター等と協力して支援していけるとよいと思います。
事務局	貴重な提案ありがとうございます。
山内委員	佐伯市内の移動販売の企業やマップについて教えてください。

事務局	把握に努めます。
西嶋委員	<p>民生委員の立場から、緊急キットについて、毎年、民生委員が内容の確認更新をしています。先日、緊急キットを活用していない方で、自宅で倒れている人がいました。包括支援センターに助けてもらいました。平日の昼間だったからよかったです。これが夜間、休日、私たちはどこに電話したらいいんですか。要望ですので、ちゃんとした連絡先とか市役所の対応とかをお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>基本的に、警察消防のほうに連絡が行くと、市役所経由で担当部局のほうには情報が行くようになると思います。</p> <p>ただ平日の日中の対応の迅速さと比べると、タイムラグがあると思います。地域包括支援センターは、基本的 24 時間対応できるように携帯電話持参をしておりますので、今後も、警察消防等も含めて連携して対応していきたいと思います。</p>
土谷委員	<p>2 点ほど、買物支援について、お店がなくなるということは、買物や一連の調理そして外に出ると機会が、やっぱり減少してしまう。認知症や生活不活発病の方が増えていく傾向にあると思います。ですので、佐伯市内でそういった店舗が撤退してしまったところの住民に関してのニーズ調査や支援、生活関連動作についても、予防を進めるうえで必要なことなので、確認してもらいたいです。</p> <p>もう 1 点ですね、介護現場もかなり疲弊をしております。また離職が進むということはもう介護現場そのものが成り立たなくなります。</p> <p>ですので、有償ボランティアの方々の活動範囲を拡充していただき、畑などの地場企業を支えられるような、スポットでも介入していただけるような仕組みも考えていただきたいです。</p>
事務局	<p>店舗がなくなるというところに関しまして、生活支援コーディネーターが力を発揮できると思います。地域の実態に即した活動を行っておりますので、地域づくりや社会資源の開発というところは、こちらのほうも促していきたいと思っております。</p> <p>また介護現場について、今年度初めに、直川のほうで慰問を受けたいと話がありました。コロナの影響で途絶えていた部分を再開できるように働きかけたいと思います。</p> <p>有償ボランティア団体は、活動内容や属しているボランティアさんの</p>

井上委員	<p>意識の醸成ができてないような状況になりますので、今年度は、介護予防と自立支援に対しての研修会を実施いたします。</p> <p>= 議事の内容について説明 =</p> <p>佐伯市認知症施策推進基本計画（仮称）について （説明者：神崎）</p> <p>サポート医とか、オレンジドクターとの連携や多職種連携や地域包括とか市との連携がカギになるので、市からも積極的にアプローチして、我々と一緒にいい形を作っていきたいと思います。</p> <p>。</p>
<b>5 閉会</b>	
事務局	<p>介護保険事業計画は、本協議会とは別の策定委員会があり、介護保険全体と高齢者福祉計画をまとめて策定する予定です。</p> <p>国の社会福祉法改正案が夏頃に発表されるので、それらを踏まえて11月～12月に策定委員会で初稿を完成させ、パブリックコメント・議会の意見を集めます。</p> <p>11月～12月頃は、書面での広報・意見取得、年度末は実際に集まり報告させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和8年度第1回高齢者にやさしい地域作り協議会を終了する。今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>= 19時56分閉会 =</p>